

熟期が早く、
草丈が短いハトムギ

はと きとらら

- 早生の標準品種「はとじろう」より熟期が早いため、寒冷地においても安定して成熟します。
- 草丈が短いため、機械収穫作業が容易になります。
- 穀実収量が「はとじろう」と同等かやや多い。

育成のねらい

ハトムギは耐湿性があり湿田でも栽培可能なことから水田転作物として栽培されていますが、安定供給、収益向上の面から生産力の高い品種が要望されています。ハトムギは生育期間が長いいため、東北地方では冷害時に成熟期に達しない場合があり、より熟期の早い品種が必要です。また、機械収穫をより効率的に行うためにさらに短稈の品種が求められています。そこで、ハトムギ生産の安定化と省力化を目指し、極早生・極短稈で機械収穫適性の高い品種「はときらら」を育成しました。

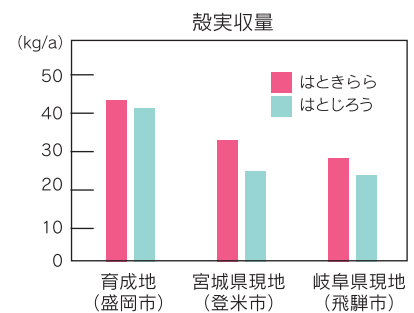
品種の活用面

極早生、極短稈で機械収穫適性が高いため、ハトムギ生産の安定化と省力化が可能となります。

栽培上の留意点

- ・北海道南部や東北地方、本州高冷地での栽培に適します。
- ・「はとじろう」と同程度に葉枯病に罹病するため、葉枯病の発生する地帯での栽培には注意してください。発生した場合には、初期にハトムギに登録のある薬剤（ロブラル水和剤（イプロジオン水和剤））を散布してください。前年に葉枯病が発生した圃場では連作を避けてください。
- ・水田移植栽培は、直播よりさらに短稈化し、低収となるために適しません。
- ・「はとじろう」などと同程度に脱粒し易いので刈り遅れに注意してください。
- ・ハトムギは他家受精しやすく、他の品種やジュズダマと容易に自然交雑します。したがって、品種の特性を維持するために採種栽培においては他の品種やジュズダマから隔離して栽培をしてください。

品種の外観 収量比較



栽培特性

品 種	ハトムギ「はときらら」			組合わせ 東北1号×オホーツク1号					
特 性	長所 1.熟期が早い。寒冷地においても安定して成熟する。 2.草丈が短い。機械収穫作業が容易である。					短所 1.葉枯病にやや弱い。			
試験場所	東北農業研究センター			北海道上ノ国町		宮城県登米市		岐阜県中山間農業研究所	
品種名・形質	はときらら	はとじろう (標準)	はとゆたか (比較)	はときらら	オホーツク1号 (標準)	はときらら	はとじろう (標準)	はときらら	はとじろう (標準)
出穂期(月日)	7.18	7.25	7.28	8.4	7.31	8.5	8.10	7.11	7.16
成熟期(月日)	9.20	9.30	10.4	10.10	10.3	9.25	10.10	9.28	10.2
草丈(cm)	174	193	202	143	131	125	180	111	148
葉枯病発生程度	微	微	微	無	無	微	少	微	微
倒伏程度	微	微	微	無	無	微	少	無	無
脱粒性	易	易	易	-	-	-	-	-	-
穀実収量(kg/a)	44.4	43.1	51.5	44.3	37.7	32.0	24.0	33.8	38.4
対標準比(%)	103	100	119	117	100	133	100	88	100
百粒重(g)	12.2	12.9	13.7	11.8	11.9	-	-	11.5	12.3
リットル重(g)	506	506	502	490	511	-	-	504	494
試験年次	2007~2010年			2007~2010年		2009年		2009年	
栽培法	転換畑・直播			畑・直播		畑・直播		畑・直播	
播種時期	4月24日(4カ年の平均)			5月21日(4カ年の平均)		5月21日		5月12日	

《種子入手先》

当面、試験栽培を希望する場合は農研機構東北農業研究センターから有償で種子を分譲します。

《利用許諾に関するお問い合わせ先》

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構(略称:農研機構) 連携普及部 知財・連携調整課 種苗係
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

品種に関するお問い合わせは 東北農業研究センター 企画管理部 情報広報課まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588
<http://tohoku.naro.affrc.go.jp/>

東北農研

検索

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。